



クレディ・スイスGTAAファンド (愛称：CSアルファ)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	複数の投資信託への投資を通じて実質的に世界の株式、債券、通貨に投資を行うことにより、中長期的に信託財産の安定した成長を目的として、積極的な運用を行います。
主要運用対象	組入れる複数の投資信託により世界の株式、債券、通貨に実質的に投資します。なお、株式、債券、通貨の投資については先物取引等を活用します。
組入制限	①投資信託への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（原則として毎年2月20日および8月20日）に、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価益を含みます）等の中から、基準価額の水準等を勘案して分配を行います。

運用報告書（全体版）

第20期

決算日：2016年2月22日

受益者のみなさまへ

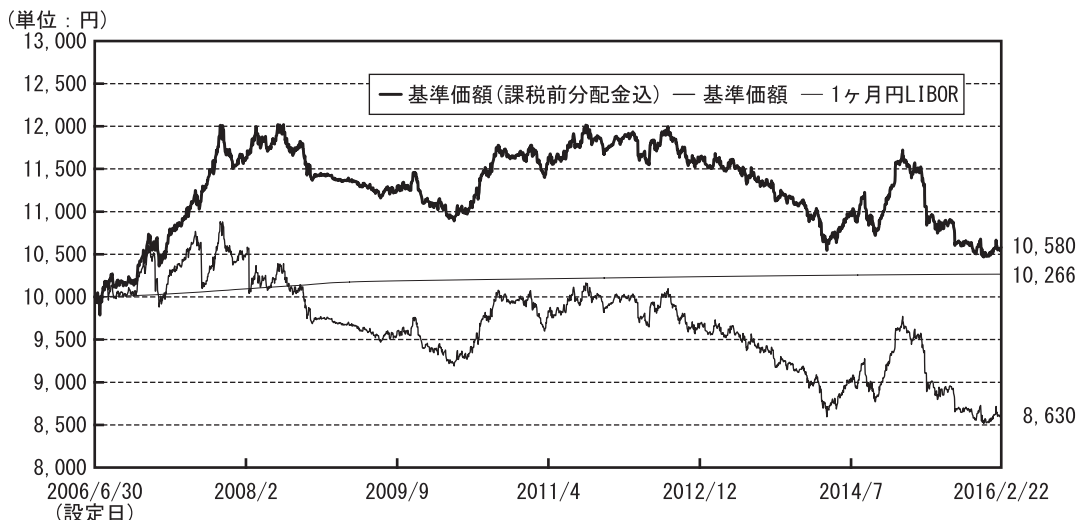
平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「クレディ・スイスGTAAファンド」（愛称：CSアルファ）は、2016年2月22日に第20期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

アバディーン投信投資顧問株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル
お問い合わせ窓口 03-4578-2251
(受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。)
インターネット・ホームページ <http://www.aberdeen-asset.co.jp>

◎基準価額の推移と運用実績（2015年8月21日から2016年2月22日まで）

設定以来の基準価額と参考指数の推移



(注) 当該ファンドではベンチマークを設定しておりませんが、参考指数として1ヶ月円LIBORを記載しております。参考指数は設定日前日を10,000として指数化しています。

期	前 期 末	期 中 高 値	期 中 安 値	当 期 末
第20期	2015/8/20	2015/8/21	2015/12/16	2016/2/22
	8,912円	8,869円	8,517円	8,630円

(注) 期末基準価額は、分配金(税引前)込み。

分配実績

決算日	分配金	決算日	分配金	決算日	分配金
第1期(2006年8月21日)	130円	第9期(2010年8月20日)	0円	第17期(2014年8月20日)	0円
第2期(2007年2月20日)	350円	第10期(2011年2月21日)	100円	第18期(2015年2月20日)	0円
第3期(2007年8月20日)	650円	第11期(2011年8月22日)	50円	第19期(2015年8月20日)	0円
第4期(2008年2月20日)	500円	第12期(2012年2月20日)	50円	第20期(2016年2月22日)	0円
第5期(2008年8月20日)	50円	第13期(2012年8月20日)	50円		
第6期(2009年2月20日)	10円	第14期(2013年2月20日)	0円		
第7期(2009年8月20日)	10円	第15期(2013年8月20日)	0円		
第8期(2010年2月22日)	0円	第16期(2014年2月20日)	0円		
累			計		1,950円

<基準価額の変動>

当ファンドは第20期の決算を迎え、基準価額は前期末の8,912円から当期末には8,630円、値下がり額は282円、当期の騰落率は3.2%の下落となりました。なお、適した指標が存在しないためベンチマークは設けておらず、参考指数としている1ヶ月円LIBORとも主要運用対象が異なるため、参考指数との比較はありません。

<変動要因>

主たる投資対象であるCSGTAAファンドの基準価額に連動して、当ファンドの基準価額も変動します。当期における資産別寄与では、CSGTAAファンドにおいて、世界的な利回りの低下に伴い債券のロング・ポジションが基準価額に大きくプラス寄与となりましたが、僅かにロングとしていた株式のポジションと、やや米ドルに対してショートしてきた為替のポジションはマイナス寄与となりました。

月間損益寄与度の推移

	2015年8月	9月	10月	11月	12月	2016年1月
株 式	-1.9%	-0.1%	0.6%	0.2%	-0.8%	-0.5%
債 券	0.4%	0.3%	-1.1%	0.2%	-0.5%	2.4%
為 替	-0.9%	0.0%	-0.2%	0.7%	-0.5%	0.2%

(注) 主たる投資対象であるCSGTAAファンドの月間の損益寄与度であり、当ファンドの基準価額の動きとは必ずしも一致しません。

【投資環境】

2015年8月の世界の株式市場は、幅広い市場で下落する展開となりました。月前半は、多くの市場で比較的堅調、もしくは一進一退の推移となりました。一方、その後は、人民元の切り下げを受けて、中国経済の軟調さが改めて意識されたことや、中国の8月製造業購買担当者景気指数が6年5か月ぶりの低水準になったことから中国市場が下落しました。その後も、中国経済の先行き不安が世界的な需要低下懸念につながったことで、世界の市場で下げが広がりました。特に、下落の発端となった中国市場の下落が大きかった他、投資家のリスク回避傾向の高まりを受け、資金流出が激しくなった新興国市場が総じて大幅に下落しました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は、世界同時株安の様相となった24日に一時50%に達するまで上昇し、28%台の高い水準で月末を迎えました。債券市場については、先進国を中心に利回りはわずかに上昇した一方、新興国を中心とした金利水準の高い国の利回りは上昇しました。米国では、月初に発表された雇用統計が底堅い内容だったことで、9月利上げの思惑が高まる一方、人民元の切り下げを背景に安全資産への需要が高まるなどにより、月前半はレンジ相場となりました。その後は、世界的な株価下落を受けて、大きく低下する場面もありましたが、一時的な動きにとどまり、長期金利はわずかに上昇（債券価格は下落）して月末を迎えました。欧州でも、ドイツ国債は米国国債と同様な利回り推移となり、わずかに上昇した一方、スペインやイタリアなどの周辺国では月後半以降の中国先行き不安を背景としたリスク回避姿勢の高まりと共に、利回りは上昇傾向となりました。また、国内政治が混迷する中、世界的なリスク回避傾向の動きを受けたブラジルでは利回りは月を通して上昇傾向で推移しました。為替市場については、世界同時株安を受けて米国の9月利上げ観測が後退したことで、米ドルが主要通貨に対して下落し、8月の米ドル・インデックスは下落しました。主に、対円や対ユーロで米ドルが下落しました。一方、中国の経済不安から世界的な需要の減退が意識されたことや、大幅な株式市場の下落によりリスク回避の動きが高まったことで、資源国及び新興国の通貨は米ドルに対して総じて下落し、豪ドルやニュージーランド・ドル、ブラジル・レアルなどが対米ドルで下落しました。

9月の世界の株式市場は、幅広い市場で下落する展開となりました。月前半は、米連邦公開市場委員会（FOMC）を控え、多くの市場で一進一退の推移となりました。一方、利上げ見送りをを受けて、米国を含む世界景気の先行きに対する不安感が改めて強く意識されたことから、月末にかけては下落する展開となりました。特に、独大手自動車メーカーによる排ガス不正問題の発覚が相場の重しとなった欧州市場や、中国景気の低迷がセンチメントに大きく影響した日本市場の下げ幅が大きくなりました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は、前月末の28%台から21日の20%台まで低下基調で推移した後、米国市場の軟調さや商品価格の下

落を受けて上昇に転じ、再度約28%まで達した後、24%台と引き続き高い水準で月末を迎えました。債券市場については、幅広い市場で利回りは低下（債券価格は上昇）した一方、新興国や資源国の利回りは上昇（債券価格は下落）しました。米国では、FOMCを前に利上げに対する不安感から長期金利は一時上昇する場面もありましたが、利上げ見送りに加え、株式相場の下落で投資家のリスク回避姿勢が強まったことから月末にかけては低下基調となりました。欧州でも、欧州中央銀行（ECB）が経済成長やインフレ見通しを引き下げたことで、追加金融緩和観測が高まったことや、独大手自動車メーカーによる排ガス不正問題で、投資家のリスク回避姿勢が強まったことを受けて、利回りは低下しました。一方、中国経済先行き不安や国内政治の混迷、商品価格の下落などを受け、ブラジル国債の利回りは上昇傾向で推移しました。為替市場については、前半は、商品価格の下落や中国の景気減速懸念、FOMCで利上げが見送られたことなどを受けて米ドルが主要通貨に対して下落、その後は米ドル買戻しの動きが見られ、最終的に9月の米ドル・インデックスは上昇しました。主に、英ポンドや豪ドル、カナダドルに対して米ドルが上昇しました。一方、対円では、投資家のリスク回避傾向を受け、月初旬に米ドルに対して円高が進行し、その後円安に振れるも再度円高傾向で推移したことから、米ドルは円に対して下落しました。

10月の世界の株式市場は、幅広い市場で上昇する展開となりました。世界的に株式市場が反発する中、米国では、発表が続いた第3四半期決算がエネルギーセクターを除くと増益基調となったことや、中国の利下げ、欧州における追加金融緩和期待の高まりが好感されました。また、中国の景気不安から前月に下落した中国市場や日本市場も反発しました。欧州でも多くの市場が上昇しましたが、前月排ガス不正問題が発覚し株価が急落した独大手自動車メーカーが大きく反発したドイツ市場の上昇率が相対的に大きくなる一方、金融引き締めへの不安から英国市場の上昇は限定的でした。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は、市場センチメントの好転を受け、前月末の24%台から低下し、15%台で月末を迎えました。債券市場については、地域によりまちまちな展開となりました。米国では、月初に発表された米雇用統計が弱い内容となったことで、年内の利上げ観測が後退し、長期金利は中旬までほぼ横ばいの推移となり、その後、株式相場の上昇やFOMCで改めて12月の利上げの可能性が示されたことから、月末にかけては金利が上昇しました。一方、欧州では、22日にECBのドラギ総裁が12月の追加緩和を示唆したことを受けて買い優勢の展開となり、ドイツやイタリア、スペインで長期金利が低下しました。また、欧州の追加緩和期待や中国が追加利下げに踏み切ったことが好感され日本国債の長期金利も低下傾向となりました。為替市場については、米ドル・インデックスは上昇し、米ドルがユーロや円などの主要通貨に対して上昇しました。米国の早期利上げ観測の後退を受けて、中旬にかけては米ドルが主要通貨に対して下落した一方、その後は、日銀の追加利下げや欧州の追加金融緩和期待、米国の年内利上げの思惑などから米ドル高が進行しました。一方、中国経済に対する過度な警戒感が後退したことから豪ドル、カナダ・ドルをはじめとした資源国や、新興国の通貨が対米ドルで上昇しました。

11月の世界の株式市場は、市場ごとによりまちまちな展開となりました。米国では、雇用統計が強い内容となったことで12月の利上げ観測が台頭し、下落する場面もありましたが、その後公表されたFOMC議事録で利上げのペースが緩やかになるとの見方などが示されたことなどから値を戻す展開となりました。欧州では、パリ同時多発テロの影響から一時リスク回避の動きが強まったものの、ECBの追加金融緩和期待を受けて買い戻されました。排ガス不正問題で下落した独大手自動車メーカーへの買いが継続したドイツ市場の上昇率は相対的に大きくなりました。新興国では、中国（香港）やインド、ブラジルが下落する一方、中国（上海）やロシアが上昇するなどまちまちな動きとなりました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は、月中旬に上昇したものの、最終的には前月末の15%台から若干上昇した16%台で月末を迎えました。債券市場についても、地域によりまちまちな展開となりました。米国では、月初に発表された雇用統計が強い内容になったことなどから、年内の利上げ観測が急速に高まり、長期金利は7月以来の高水準まで上昇しました。その後はパリでの同時多発テロの発生を受けて、質への逃避の動きから利回りは低下傾向となりましたが、最終的に長期金利は前月末より上昇して月末を迎えました。一方、欧州では、パリの同時多発テロやロシア軍用機撃墜事件の発生を受けて、安全資産の需要が高まったことや、ドラギECB総裁が改めて12月の追加緩和を示唆したことなどから主要国の利回りは低下しました。為替市場については、幅広い通貨に対して米ドルが上昇し、米ドル・インデックスも上昇しました。月初に発表された米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に上回ったことなどから、米国の年内利上げの可能性が高まったことを受け、多くの通貨に対して米ドル高が進行しまし

た。特に、ユーロや英ポンド、円などの主要通貨に対して米ドルが上昇しました。一方、国内経済指標の好調さが好感されたことにより、オーストラリア・ドルは米ドルに対して上昇しました。

12月の世界の株式市場は、多くの市場が下落する展開となりました。米国では、中旬のFOMCを前に様子見姿勢が強まる中、原油価格の下落や中国経済の先行きに対する懸念などから下落基調が始まりました。ただ、9年半ぶりとなる利上げが発表された後は悪材料出尽くし感から戻り歩調となりました。欧州では、月初に発表されたECBによる追加金融緩和の内容が市場の期待を裏切ったことや石油輸出国機構(OPEC)の減産見送りを受けて商品相場が下落したことなどを嫌気し、総じて下落しました。追加金融緩和への失望感から、特にユーロ圏株式の下落が相対的に大きくなりました。新興国では、中国(香港)やインド、ロシアで概ね前月末の水準で終了した一方、財務相の交代発表があったブラジルでは大きく下落しました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は、月半ばにかけて25%近くまで上昇したものの、その後低下基調となり、前月末から若干上昇した17%台で月末を迎えました。債券市場については、小動きとなる地域が多い中、欧州や新興国では金利が上昇しました。米国では、月初に欧州債券利回りが大きく上昇した流れを受けて一時的に利回りが上昇しましたが、株式相場が下落したことから買い戻されました。その後、FOMCで利上げが発表されましたが、相場が織り込み済みで大きな波乱はありませんでした。欧州では、初旬に発表されたECBの追加金融緩和策が投資家が期待していたほど大規模なものではなかったことを嫌気し、利回りは上昇傾向となりました。その後、原油価格の下落を受けて金利が低下する場面も見られましたが方向感のない展開となりました。為替市場については、幅広い通貨に対して米ドルが下落し、米ドル・インデックスは下落しました。世界的に株安が進んだことで中旬にかけて多くの通貨に対してドル安基調が続きました。特に、ユーロやニュージーランド・ドル、円に対して米ドルが下落しました。対円では米利上げや日銀による量的・質的緩和策の補完措置の発表を受けて米ドルが反発する場面も見られましたが、一時的なものにとどまりました。一方、資源価格の下落等により、カナダドルやブラジル・リアルは米ドルに対して下落しました。

2016年1月の世界の株式市場は、多くの市場が下落する展開となりました。米国では、中国市場や人民元の下落に加え、中東での地政学リスクの高まりなどを嫌気し、大きく下落する展開となりました。ただ、ダウ工業株30種平均が16,000ドルを割り込む場面では値ごろ感から買いも見られ、月末にはやや反発しました。欧州でも、中国市場の下落や原油安を嫌気し、日本など主要株式市場が下落した流れを受けて軟調な展開となりました。ただ、利上げが先送りされるとの見方から、英国株式市場の下げが相対的に小さくなりました。新興国では、景気先行き懸念が台頭した中国(上海)市場で大幅安となり、4日と7日にはサーキットブレーカーが発動しました。月間では中国(上海)市場は▲20%を超える下落となりました。ブラジルやインド市場も下落した一方、ロシア市場は上昇しました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は、月初から上昇し8日と20日には27%台に達しました。月末にかけては低下し、前月末から2%程度上昇した20%台で月末を迎えました。債券市場については、多くの地域で金利が低下しました。米国では、原油価格の急落や世界的な株安を受けて、景気が後退し追加利上げが先送りされるとの見方から債券が買われる展開が続きました。中旬以降は10年債利回りで2.0%を挟んだ小動きが続きましたが、日本の追加金融緩和が発表された月末には一段と低下しました。欧州では、投資家の質への逃避の動きが強まったことに加え、原油価格の下落でインフレ懸念が後退し、追加金融緩和期待が高まったことが金利の低下に拍車を掛けました。日本では、月末に日銀が当座預金の一部にマイナス金利を導入する追加金融緩和策を発表したことで全般に利回りが大きく低下し、過去最低金利を更新しました。為替市場については、幅広い通貨に対して米ドルが上昇し、米ドル・インデックスは上昇しました。中国経済先行き懸念や資源価格の下落から、主に資源国や新興国通貨が米ドルに対して下落した一方、ユーロ・米ドル相場は方向感なく狭い範囲での動きとなりました。世界的な株価の急落を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まったことで安全資産とされる円は大きく買われる展開となりました。ただ、1米ドル=116円程度まで円高・ドル安が進んだ後は米ドルが底堅く推移し、月末に日銀がマイナス金利を導入すると発表すると1米ドル=121円台まで円安・ドル高が進みました。

2月、株式市場の下落基調が続く、原油価格の動向にも左右されています。リスクを回避しようとの動きから債券利回りは大きく低下し、為替も追加利上げが回避された米ドルが軟化し、マイナス金利を導入した日本の円が全面高となっています。

【運用経過】

当ファンドでは、CS GTAAファンドを中心に組入れており、当ファンドの運用成果にはCS GTAAファンドの運用成果が大きく反映されます。CS GTAAファンドは独自のクオantz・モデルに基づき割安な資産をロング、割高な資産をショートします。また、いくつかの投資テーマおよび各々のファクターで構成されるGTAAモデルを利用し、投資テーマやファクターのウェイトについては市場環境に応じて随時見直しや調整を行いながら最適化を目指しています。このところ各国のマクロ経済の違いが株式・債券・為替相場に反映されにくくなったことなどから、当期からはこれまで投資テーマのひとつとしていたマクロ・ファンダメンタルのウェイトをゼロとし、実質的には投資テーマから外すなどレラティブ・バリュエーション・プログラム、トレンド・フォロー・プログラム、クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルを主要な3つの投資テーマとして運用を行いました。

2015年8月の当ファンドが主要投資対象としているCS GTAAファンドの月間の運用状況は、主に株式と為替の資産クラスがマイナスに影響しました。一方、債券はわずかにパフォーマンスにプラスに寄与しました。当ファンドの推定リスクについては、年6%をわずかに下回る水準としました。株式については、世界の株式市場が総じて下落する中、トレンド・フォロー・プログラムが上昇トレンドからの反転を示し、株式に対する弱気を示唆したことで、株式ネット・ポジションが大きく低下しました。特に、米国、日本、欧州市場のロング・ポジションを大きく減少させました。ただし、プログラムの市場の反転を捉えるタイミングと実際の市場下落タイミングに差異が生じたことから、主に米国や日本市場のロング・ポジションがパフォーマンスにマイナスに影響しました。一方、ショート・ポジションを構築していたシンガポール市場はパフォーマンスにプラスに寄与しました。クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルはディフェンシブなスタンスを示し、株式保有比率を引き下げました。債券については、多くの市場でボラティリティの高い展開となる中、債券のロング・ポジションを構築していたことがパフォーマンスにプラス寄与しました。主に、英国とカナダ国債に対するロング・ポジションがパフォーマンスに貢献しました。クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルがシグナルを反転させたことで、債券のネット・ロング・ポジションは増加しました。為替については、主要通貨に対して米ドルが下落する環境の中、質への逃避から大幅に買われた日本円やユーロにおいて、対米ドルでのショート・ポジションを構築していたことがパフォーマンスにマイナスに影響しました。市場変化を受けて、トレンド・フォロー・プログラムとキャリー・プログラムは米ドルに対するその他通貨のロング・ポジションを拡大させました。

9月、主に株式の資産クラスがマイナスに影響しました。一方、債券と為替がパフォーマンスにプラスに寄与しました。当ファンドの推定リスクについては、年6%をわずかに下回る水準としました。株式については、世界の株式市場が総じて下落する中、クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルにおいて株式保有比率を引き下げたものの、ロング・ポジションを構築していたことが、パフォーマンスにマイナスに影響しました。また、月前半の市場上昇局面において日本市場の売りポジションを構築していたことがパフォーマンスにマイナスに影響しました。一方、トレンド・フォロー・プログラムは9月の株式のパフォーマンスにプラス寄与し、シグナルがネガティブに転じたことを受けて、株式に対するロング・ポジションを引き下げました。債券については、幅広い市場での債券価格が上昇する中、トレンド・フォロー・プログラムが債券保有比率の引き上げを示唆したことがパフォーマンスにプラスに寄与しました。特に、英国、米国、カナダ国債のロング・ポジションが奏功しました。一方、オーストラリアとドイツ国債のショート・ポジションはパフォーマンスにマイナスに影響しました。クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルのシグナルの変更により、債券のネット・ポジションは増加しました。為替については、多くの通貨に対して米ドルが上昇した環境の中、主に米ドルに対する豪ドルとカナダドルのショート・ポジションがパフォーマンスにプラスに寄与しました。一方、メキシコ・ペソの買いなど、レラティブ・バリュエーション・プログラムが示唆した通貨のロング・ポジションはパフォーマンスにマイナスに影響しました。米ドルに対するロング・ポジションはキャリー選好の低下により、低下しました。

10月、主に株式の資産クラスがプラスに寄与しました。一方、債券と為替がパフォーマンスにマイナスに影響しました。当ファンドの推定リスクについては、年6%をわずかに下回る水準としました。株式については、世界の株式市場が総じて上昇する中、クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルが株式保有比率を引き上げたことが奏功しました。特に、米国市場や、日本、欧州市場の買いポジションがパフォーマンスにプラス寄与しました。企業のバランスシート面から、株式の市場環境が良好と見られることを受け、株式のネット・ロング・ポジションを穏やかに引き上げました。債券については、地域によりまちまちでボラティリティの高い展開となる中、利回りが上昇したカナダ国債と英国国債のロング・ポジションがパフォーマンスにマイナスに影響しました。また、欧州の追加緩和期待を受けて利回りが低下したドイツ国債のショート・ポジションがパフォーマンスにマイナスに影響しました。レラティブ・バリュアー・プログラムとトレンド・フォロワー・プログラムは債券市場の展開を上手く捉えることが出来なかったものの、債券のボラティリティ上昇に対応し、債券のグロス・ロング・ポジション幅を縮小し、グロス・ショート・ポジション幅も縮小させました。債券のネット・ポジションは前月とほぼ同水準となっています。為替については、米ドルの各国通貨に対するパフォーマンスがまちまちだった中、前月に引き続きショート・ポジションを構築していたカナダドルや、ニュージーランド・ドルのショート・ポジションがパフォーマンスにマイナスに影響しました。一方、レラティブ・バリュアー・プログラムが示唆したメキシコ・ペソのロング・ポジションはパフォーマンスにプラス寄与しました。

11月、主に為替の資産クラスがパフォーマンスにプラスに寄与し、債券と株式の資産クラスもプラスに寄与しました。当ファンドの推定リスクについては、年6%をわずかに下回る水準としました。株式については、世界の株式市場がまちまちな展開となる中、欧州市場及びアジア市場へのポジションがパフォーマンスにプラスに寄与しました。トレンド・フォロワー・プログラムでは、一部の株式市場においてトレンド・シグナルが一段と強気となりました。これを受けて、株式のネット・ロング・ポジションは穏やかに引き上げられました。クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルでも株式部分はパフォーマンスにプラスに寄与しました。債券については、レラティブ・バリュアー・プログラムが構築したポジションが主にパフォーマンスにプラスに寄与しました。特に、英国及びカナダ国債のロング・ポジションや、タイミングを捉えたドイツ国債のショート・ポジションが奏功しました。一方、米国国債のロング・ポジションやオーストラリア国債のショート・ポジションはパフォーマンスにマイナスに影響しました。債券市場のボラティリティの高まりや、債券市場トレンドの軟化を受け、債券のネット・ロング・ポジションは縮小しました。為替については、米ドルが多くの通貨に対して上昇する中、レラティブ・バリュアー・プログラムの構築ポジションがパフォーマンスにプラスに寄与しました。特に、スイスフランとユーロのショート・ポジションが奏功しました。一方、ニュージーランド・ドルのロング・ポジションはパフォーマンスにマイナスに影響しました。キャリアおよびトレンド指標の示唆により、米ドルへの選好が高まりました。

12月、主に株式の資産クラスがパフォーマンスにマイナスに影響し、債券と為替の資産クラスもマイナスに影響しました。当ファンドの推定リスクについては、年6%をわずかに下回る水準としました。株式については、相対的に下落の大きかったユーロ圏市場へのロング・ポジションが主にパフォーマンスにマイナスに影響しました。一方、米国の利上げ決定を受けて当面の不透明感が払拭されたことから上昇したオーストラリア市場のロング・ポジションはパフォーマンスにプラス寄与しました。トレンド・フォロワー・プログラムとクレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルが株式のロング・ポジションを構築していたことはパフォーマンスにマイナスに影響しました。トレンド・フォロワー・プログラムが株式市場への弱気シグナルを出したことから、株式のネット・ロング・ポジションは引き下げられました。債券については、レラティブ・バリュアー・プログラムが構築したポジションにより、主に利回りの上昇した英国国債のロング・ポジションや、利回りの低下したオーストラリア国債のショート・ポジションがパフォーマンスにマイナスに影響しました。一方、利回りの低下したカナダ国債のロング・ポジションはプラスに寄与しました。世界的な債券市場のボラティリティ上昇により、債券のネット・ロング・ポジションは引き下げられました。為替については、レラティブ・バリュアー・プログラムの示唆により構築していた、スイスフランやユーロのショート・ポジションがパフォーマンスにマイナスに影響しました。一方、カナダドルや英ポンドの

ショート・ポジションはパフォーマンスにプラスに寄与しました。トレンド指標の示唆により、米ドルへの選好は低下しました。

2016年1月、主に債券と為替の資産クラスがパフォーマンスにプラスに寄与しました。一方、株式の資産クラスはパフォーマンスにマイナスに影響しました。当ファンドの推定リスクについては、年6%をわずかに下回る水準としました。株式については、クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルのロング・ポジションがパフォーマンスにマイナスに影響しました。特に、米国市場と日本市場への配分がパフォーマンスにマイナスに影響しました。一方、株式へのショート・ポジションを構築していたトレンド・フォロー・プログラムはパフォーマンスにプラスに寄与しました。世界的な株安を受け、株式への配分は、ロング、ショート・ポジション共に縮小しましたが、ネット・ロング・ポジションは前月より僅かに低下した程度にとどまりました。債券については、レラティブ・バリュア・プログラムが構築したポジションにより、主に英国10年国債や、ドイツ10年国債へのロング・ポジションがパフォーマンスにプラスに寄与しました。また、トレンド・フォロー・プログラムの示唆により、一部の債券ショート・ポジションをロング・ポジションに切り替えたこともパフォーマンスにプラスに寄与しました。トレンド・フォロー・プログラムのシグナルにより、債券のネット・ロング・ポジションは引き上げられました。為替については、トレンド・フォロー・プログラムのポジションがパフォーマンスにプラスに寄与しました。主にパフォーマンスにプラスに寄与したのは、米ドルに対する英ポンドやメキシコ・ペソのショート・ポジションです。レラティブ・バリュア・プログラムの示唆により、米ドルのロング・ポジションは引き上げられました。

ネットエクスポージャーの推移

	2015年8月31日	9月30日	10月30日	11月30日	12月30日	2016年1月29日
株 式	5.0%	5.0%	13.0%	16.0%	8.0%	7.0%
債 券	72.0%	77.0%	79.0%	56.0%	37.0%	76.0%
為 替	-20.0%	-13.0%	-28.0%	-35.0%	-29.0%	-23.0%

(注) 主たる投資対象であるCS GTAAファンドについて記載しています。

【収益分配金】

基準価額の水準等を勘案し、第20期末の収益分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった利益は信託財産に留保し、留保金の運用については、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

【今後の市場見通しと投資戦略】

当ファンドの主たる投資対象であるCS G T A Aファンドについては、引き続きクオンツ・モデルによってグローバル市場をさまざまなファクターに基づいて分析し、割安と見られる資産をロング、割高と見られる資産をショートしていきます。クレディ・スイスG T A A戦略の鍵となる特徴は、経済状況の変化に対する適応能力です。同投資戦略におけるファクター・ウェイトは、ダイナミックな統計的手法による予測力を基準として変更されます。このようにして、市場環境の変化を期待リターン及びリスクへ適切に反映させる方針です。市場環境によって個々のファクターの有効性が大きく変動する、もしくは中長期で見たモデルの有効性が低下していく可能性はありますが、G T A Aコア戦略に加えて導入されたレラティブ・トレーディング・アービトラージ(R T A)戦略により投資対象市場が拡大するとともに、ファンダメンタル指標だけでなく市場の値動きを捉えるテクニカル指標に基づいた短期的な売買が可能となっています。当ファンドのリスクについて現状では6%程度としており、中長期的な実現ベースの目標水準に達しているため、当面は同程度で推移させる予定です。

(上記の見通しと戦略は、2016年2月22日時点のものです。)

当報告書はアバディーン投信投資顧問株式会社独自の分析に基づき作成したものです。信頼できる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性が保証されるものではありません。当報告書で示した見通しおよび分析結果等については、予告なく変更する場合があります。また、当報告書の過去の収益率等は、将来の投資成果を保証するものではありません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		投資信託 受益証券 組入比率 (%)	純資産 総額 (百万円)
	(分配落) (円)	税込 分配金 (円)	期中 騰落率 (%)		期中 騰落率 (%)		
16期 (2014年2月20日)	8,996	0	△3.9	10,252	0.1	98.7	3,022
17期 (2014年8月20日)	9,080	0	0.9	10,257	0.0	98.5	1,234
18期 (2015年2月20日)	9,580	0	5.5	10,261	0.0	98.5	1,254
19期 (2015年8月20日)	8,912	0	△7.0	10,264	0.0	98.7	1,078
20期 (2016年2月22日)	8,630	0	△3.2	10,266	0.0	98.5	1,044

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 純資産の単位未満は切捨て。騰落率及び各比率は小数第2位以下で四捨五入。

(注3) 参考指数は設定日前日を10,000として指数化しています。

(注4) 当該ファンドではベンチマークを設定しておりません。参考指数として1ヶ月円LIBORを記載しておりますが当ファンドにおいては参考指数を目指して運用するものではありません。

◎当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		参考指数		投資信託 受益証券 組入比率 (%)
	(円)	騰落率 (%)		騰落率 (%)	
(期首)					
2015年8月20日	8,912	—	10,264	—	98.7
2015年8月31日	8,686	△2.5	10,264	0.0	98.7
2015年9月30日	8,654	△2.9	10,265	0.0	98.8
2015年10月30日	8,669	△2.7	10,265	0.0	98.9
2015年11月30日	8,694	△2.4	10,266	0.0	99.0
2015年12月30日	8,533	△4.3	10,266	0.0	99.0
2016年1月29日	8,624	△3.2	10,266	0.0	99.1
(期末)					
2016年2月22日	8,630	△3.2	10,266	0.0	98.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 騰落率は小数第2位以下で四捨五入。

(注3) 当該ファンドではベンチマークを設定しておりません。参考指数として1ヶ月円LIBORを記載しておりますが当ファンドにおいては参考指数を目指して運用するものではありません。

◎ 1口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	第20期 (2015年8月21日～ 2016年2月22日)		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
平均基準価額	8,643	—	期中の平均基準価額です。
信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	33 (12) (19) (2)	0.382 (0.139) (0.220) (0.023)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用 (監査費用)	6 (6)	0.069 (0.069)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人に支払うファンド監査に係る費用
合計	39	0.451	

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 項目毎に円未満は四捨五入し、単位未満は0円と表示しています。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託受益証券等が支払った費用を含みません。

◎ 売買及び取引の状況（2015年8月21日から2016年2月22日まで）

投資信託受益証券

		買付口数 (口)	買付金額 (千円)	売付口数 (口)	売付金額 (千円)
外国	ケイマン（邦貨建）	—	—	800	7,139

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◎ 主要な売買銘柄（2015年8月21日から2016年2月22日まで）

投資信託受益証券

銘柄名		買付		売付	
		口数 (口)	金額 (千円)	口数 (口)	金額 (千円)
外国	CS GTAA FUND（邦貨建）	—	—	800	7,139

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◎当期中の利害関係人との取引状況等（2015年8月21日から2016年2月22日まで）

(1) 期中の利害関係人との取引状況

区 分	売 買 金 額 等 (単位：百万円)					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A (%)	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C (%)
投資信託受益証券等	—	—	—	7	—	—

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイです。

(2) 期中の利害関係人の発行する有価証券等

種 類	売 買 金 額 等 (単位：百万円)		
	買 付 額	売 付 額	作成期末保有額
投資信託受益証券等	—	—	1

*表示単位：百万円

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイです。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 20 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 A	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 B	—千円
B/A	—%

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイです。

◎組入資産の明細（2016年2月22日現在）

外国投資信託等

銘 柄 名	前 期 末	当 期		末				
	口 数 (口)	口 数 (口)	評 価 額 (千円)	組 入 比 率 (%)				
CS GTAA FUND (邦貨建)	115,568	114,768	1,026,944	98.3				
アバディーン・リクイディティ・ ファンド(ルクス)米ドル(米ドル建)	10	10	<table border="1"> <tr> <td>外貨建評価額 (千米ドル)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>邦貨換算金額 (千円)</td> <td>1,285</td> </tr> </table>	外貨建評価額 (千米ドル)	11	邦貨換算金額 (千円)	1,285	0.1
外貨建評価額 (千米ドル)	11							
邦貨換算金額 (千円)	1,285							

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 口数・金額の単位未満は切捨て。

◎投資信託財産の構成

(2016年2月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額 (千円)	比 率 (%)
投 資 信 託 受 益 証 券	1,026,944	97.9
投 資 証 券	1,285	0.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	20,732	2.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,048,961	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(1,285千円)の投資信託財産総額(1,048,961千円)に対する比率は0.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年2月22日における邦貨換算レートは1米ドル=112.85円です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年2月22日現在)

項 目	第 20 期 末
(A) 資 産 (円)	1,048,961,324
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	20,731,936
投資信託受益証券(評価額)	1,026,944,064
投 資 証 券 (評価額)	1,285,324
(B) 負 債	4,715,327
未 払 信 託 報 酬	4,013,327
そ の 他 未 払 費 用	702,000
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,044,245,997
元 本	1,210,000,000
次 期 繰 越 損 益 金	△ 165,754,003
(D) 受 益 権 総 口 数 (口)	121,000
1口当たり基準価額(C/D)(円)	8,630

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(注1) 期首元本額(円) 1,210,000,000

 期中追加設定元本額(円) 0

 期中一部解約元本額(円) 0

(注2) 1口当たり純資産額(円) 8,630

(注3) 元本の欠損(円) 165,754,003

(注4) 当期末における未払信託報酬(消費税等相当額を含む)の簡便法による内訳は、「1口(元本10,000円)当たりの費用明細」をご覧ください。

◎損益の状況

当期(2015年8月21日から2016年2月22日まで)

項 目	第 20 期
(A) 配 当 等 収 益 (円)	566
受 取 利 息	566
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益	△ 29,380,831
売 買 損 益	1,838
売 買 損	△ 29,382,669
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,715,327
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 34,095,592
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 164,196,040
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	32,537,629
(配 当 等 相 当 額)	(927,517)
(売 買 損 益 相 当 額)	(31,610,112)
(G) 合 計 (D+E+F)	△ 165,754,003
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 165,754,003
追 加 信 託 差 損 益 金	32,537,629
(配 当 等 相 当 額)	(927,517)
(売 買 損 益 相 当 額)	(31,610,112)
分 配 準 備 積 立 金	15,212,690
繰 越 損 益 金	△ 213,504,322

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定金額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当期における信託報酬(消費税等相当額を含む)の簡便法による内訳は、「1口(元本10,000円)当たりの費用明細」をご覧ください。

(注5) 収益分配金の計算過程
 費用控除後の配当等収益(円) 0
 費用控除後の有価証券売買等損益(円) 0
 信託約款に規定する収益調整金(円) 927,517
 分配準備積立金(円) 15,212,690
 分配対象収益(円) 16,140,207
 分配対象収益(1口当たり)(円) 133
 分配金(円) 0
 分配金(1口当たり)(円) 0

◎分配原資の内訳

(単位：円・%、1口当たり・税引前)

項 目	第20期
	(2015年8月21日～2016年2月22日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	133

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

◇復興特別所得税についてのお知らせ

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税および復興特別所得税15.315%、並びに地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

なお、復興特別所得税に係る記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、お申し出頂ければ再度、送付させていただきますので、その旨を販売会社までお申し出ください。

参考情報 投資する外国投資信託等およびその概要

ファンド名	CS GTAAファンド
形態	ケイマン籍／円建て／外国投資信託
主な投資対象	世界の主要な証券取引所に上場している株価指数先物、債券先物、通貨先物、国内外の短期金融資産等
運用の基本方針	世界の株式、債券、通貨に実質的に投資することによって中長期的に信託財産の安定した成長を目的として、積極的な運用を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 先物全体のレバレッジは運用資産総額の6倍を超えないこととします。 株価指数先物に関わるレバレッジは運用資産総額の2.5倍を超えないこととします。 一つの先物のロングあるいはショートポジションの額の絶対値（ネットポジション）は、株価指数先物の場合、ファンドの運用資産総額の50%、債券先物は100%、通貨先物は75%を、それぞれ超えないこととします。
設定日	平成18年6月30日
決算日	9月末
分配方針	毎年2月、8月に純資産価格の水準、金利等市況動向を勘案し分配を行います。ただし、分配対象額が小額の場合には分配を行わないことがあります。
運用報酬等	<ul style="list-style-type: none"> 運用報酬 運用資産総額に対し、年率0.035%が運用報酬としてかかります。 成功報酬 運用報酬等に加え、純資産価格がハードルバリュース*1を上回った場合に、その超過額の20%程度に発行済み受益権口数を乗じた金額が、成功報酬として別途かかります。 投資顧問報酬 運用資産総額に対し、年率約0.50%が投資顧問報酬としてかかります。 ※運用報酬等は将来的に変更になる場合があります。
その他費用	<p>事務管理費用、保管費用、受託費用等 運用資産総額に対し、合計で年率約0.115%かかります。 ※その他費用は将来的に変更になる場合があります。</p>
申込手数料	ありません。
受託会社	メイプルズ・ファイナンス・リミテッド
管理会社	トータル・アルファ・インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エイ
投資顧問会社	クレディ・スイス・アセット・マネジメント・エルエルシー
保管銀行	SMBCニッコウ・バンク（ルクセンブルグ）エス・エイ
管理事務代行会社	SMBCニッコウ・バンク（ルクセンブルグ）エス・エイ
トレーディング・カンパニー	<p>NKNDトレーディング・リミテッド CS GTAAファンドの投資は、受託会社の100%子会社であるトレーディング・カンパニーを通じて行われます。</p>

※1 ハードルバリュースとは、計算日とその前計算日の加重平均したCS GTAAファンドの買付け価格にハードルレート・インデックス*2を乗じたものです。

※2 ハードルレート・インデックスとは、計算日の前四半期の最終営業日の1ヵ月円LIBORを、計算日の前四半期の最終営業日から計算日までの日数を考慮して指数化したものです。

ファンド名	アバディーン・リクイディティ・ファンド (ルクス) 米ドル
形態	ルクセンブルグ籍/米ドル建て 外国投資証券
主な投資対象	国外の公社債およびCP、CDを含む短期金融資産等
運用の基本方針	主として国外の公社債および短期金融資産等に投資することにより安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。
設定日	昭和59年9月17日
決算日	原則毎年3月31日
分配方針	分配は行いません。
管理費用	原則として、ありません。
その他費用	事務管理費用、保管費用等
申込手数料	原則として、ありません。
管理会社	アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイ
投資顧問会社	アバディーン・インターナショナル・ファンド・マネジャーズ・リミテッド
管理事務代行会社	登録・名義書換事務代行会社： アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイ 管理事務代行会社： ステート・ストリート・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイ (登録・名義書換事務代行を除きます。)
保管銀行	ステート・ストリート・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイ

参考情報

1. クレディ・スイスGTAAファンドが投資対象とするCS GTAAファンドの状況

◎設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	分 配 金	騰 落 率
(設 定 日)	円	円	%
2006年6月30日	10,000	—	—
1期 (2006年9月29日)	10,070	150	2.2
2期 (2007年9月28日)	10,451	980	13.5
3期 (2008年9月30日)	9,808	728	0.8
4期 (2009年9月30日)	9,664	0	△ 1.5
5期 (2010年9月30日)	10,123	0	4.7
6期 (2011年9月30日)	10,066	326	2.7
7期 (2012年9月28日)	9,853	185	△ 0.3
8期 (2013年9月30日)	9,284	0	△ 5.8
9期 (2014年9月30日)	9,216	0	△ 0.7
10期 (2015年9月30日)	8,966	0	△ 2.7
11期 (2016年2月22日現在)	8,948	0	△ 0.2

(注1) 基準価額は1口当たりで分配落。

(注2) 騰落率は分配金込み。

(注3) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

◎最近1年間の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額 (分 配 落)	分 配 金	騰 落 率
	円	円	%
2015年2月末	9,865	—	—
3月末	9,836	—	△ 0.3
4月末	9,383	—	△ 4.9
5月末	9,280	—	△ 5.9
6月末	9,148	—	△ 7.3
7月末	9,201	—	△ 6.7
8月末	8,960	—	△ 9.2
9月末	8,966	—	△ 9.1
10月末	8,913	—	△ 9.7
11月末	9,011	—	△ 8.7
12月末	8,841	—	△ 10.4
2016年1月末	8,939	—	△ 9.4
(現 在 日)			
2016年2月22日	8,948	—	△ 9.3

(注1) 基準価額は1口当たりで分配落。

(注2) 騰落率は2015年2月末(分配落)比で分配込み。

(注3) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

1) CS GTAAファンドの貸借対照表の状況 (2015年9月30日現在)

クレディ・スイスGTAAファンドは、CS GTAAファンドの投資信託受益証券に投資しています。
(単位：円)

資産	
投資有価証券	1,041,442,539
資産合計	1,041,442,539
負債	
投資顧問料	92,040
委託者報酬	1,553,082
受託者報酬	458,313
監査報酬等	2,493,545
その他費用	651,113
負債合計	5,248,093
純資産額 (資産－負債)	1,036,194,446

2) CS GTAAファンドの損益の状況

(単位：円)

(1) 前期末純資産総額	1,161,792,569
(2) 損益計算書 (2014年10月1日から2015年9月30日まで)	
投資収益	
収入	
受取利息	0
収益合計	0
費用	
投資顧問料	397,322
委託者報酬	6,704,065
受託者報酬	1,821,049
監査報酬等	2,562,239
その他費用	3,203,527
費用合計	14,688,202
投資純損失	△ 14,688,202
実現および未実現損益	
有価証券、先物取引に係る実現純損益	14,385,856
有価証券、先物取引に係る未実現純損益	△ 22,313,377
実現および未実現損益合計	△ 7,927,521
運用による純資産増減額	△ 22,615,723
(3) 元本増減額	
追加・解約による純資産増減額	△ 102,982,400
(4) 2015年9月30日現在 純資産額	1,036,194,446

3) CS GTAAファンドの組入資産の明細

(2015年9月30日現在)

通貨	銘柄名	株数	評価単価	評価額
円	NKND TRADING LIMITED	株 81,135	円 12,835.9759	円 1,041,442,539

1口当たり情報

(2015年9月30日現在)	
1口当たり純資産額	8,966

CS GTAAファンドが投資対象とするNKND TRADING LIMITEDの状況

(1) 信託財産の状況

(2015年9月30日現在)

通貨	円
銀行預金 (ルクセンブルグ)	64,781,408
海外宛資金 (信託口座) AUD	△ 4,095,964
海外宛資金 (信託口座) CAD	5,935,352
海外宛資金 (信託口座) HKD	1,373,740
海外宛資金 (信託口座) JPY	184,464,348
海外宛資金 (信託口座) MXN	223,150
海外宛資金 (信託口座) SGD	1,885,064
海外宛資金 (信託口座) ZAR	△ 865,801
海外宛資金 (信託口座) SEK	△ 1,617,228
海外宛資金 (信託口座) CHF	515,961
海外宛資金 (信託口座) GBP	6,124,400
海外宛資金 (信託口座) USD	△ 6,448,845
海外宛資金 (信託口座) EUR	△ 6,646,272
流動性資金合計	245,629,313
資産	
国債証券	800,006,435
資産合計	1,045,635,748
負債	
評価損益 (先物取引)	4,193,208
負債合計	4,193,208
純資産額	1,041,442,540
元本	1,049,355,137
剰余金	△ 7,912,597

(2) 組入資産の明細
有価証券

(2015年9月30日現在)

種 類	通 貨	銘 柄 名	券 面 総 額	評 価 額
国債証券	JPY	JAPAN T-BILL 0 30NOV15 SER554	円 800,000,000	円 800,006,435
合計	—	—	800,000,000	800,006,435

先物取引

(2015年9月30日現在)

銘 柄 名	通 貨	売 買	枚 数	評 価 額	評 価 損 益
<Futures on currencies>			枚	円	円
AUSTRALIAN DOLLAR. IMM. DEC15	USD	買	2	16,695,472	△ 40,807
CANADIAN DOLLAR. IMM. DEC15	USD	売	4	35,748,234	494,502
EURO CURRENCY. IMM. DEC15	USD	売	3	50,734,551	△ 136,528
JAPANESE YEN. IMM. DEC15	USD	売	3	37,650,330	△ 90,768
MEX PESO. IMM. DEC15	USD	買	8	27,975,417	△ 242,448
NEW B-POUND. IMM. DEC15	USD	売	4	45,465,453	581,370
NEW ZEALAND DOLLAR. IMM. DEC15	USD	売	6	45,427,045	△ 360,073
SWISS FRANC. IMM. DEC15	USD	売	3	46,490,167	△ 292,561
合 計			—	—	△ 87,313
<Futures on interest rates>			枚	円	円
AUSTR. 10YT-BD 6pc. SFE. DEC15. 140100	AUD	売	34	282,534,926	△4,510,473
AUSTR. 3YT-BD 6pc. SFE. DEC15. 140100	AUD	売	1	8,278,226	△ 23,585
CANADA GOV BOND. ME. DEC15	CAD	買	34	432,241,270	△ 454,582
EURO BOBL. EUREX. DEC15	EUR	買	5	86,934,370	446,129
EURO BUND. EURX. DEC15	EUR	売	6	126,293,401	△1,366,689
GILT. ICE. DEC15	GBP	買	20	433,314,028	2,341,449
JGB MINI. SGX. DEC15	JPY	売	17	251,940,000	△ 346,997
SCHATZ. EUREX. DEC15	EUR	買	20	300,159,446	235,868
US T-NOTES 10YR. CBT. DEC15	USD	買	12	185,528,583	2,436,125
US T-NOTES 2YR. CBT. DEC15	USD	買	6	157,780,320	215,669
US T-NOTES 5YR. CBT. DEC15	USD	買	4	57,874,537	343,196
合 計			—	—	△ 683,890

銘 柄 名	通 貨	売 買	枚 数	評 価 額	評 価 損 益
<Futures on stock indices>			枚	円	円
E-MINI S+P. IMM. DEC15	USD	買	2	22,498,679	△ 985,404
EURO STOCK INDEX DJ. EURX. DEC15	EUR	買	3	12,235,506	△ 532,387
FTSE INDEX 100. ICE. DEC15	GBP	買	2	21,414,831	△ 841,686
FTSE JSE TOP40. SAF. DEC15	ZAR	売	1	3,866,601	△ 37,047
IPC INDEX MEX BOLSA. MDX. DEC15	MXN	売	2	5,970,749	136,180
MSCI SING IX ETS. SGX. OCT15	SGD	売	1	5,270,539	84,328
OMXS30. OMX. OCT15	SEK	売	1	1,998,472	44,147
S+P CNX NIFTY. SGX. OCT15	USD	売	2	3,829,276	29,526
S+P/TSX60 INDEX. ME. DEC15	CAD	買	2	27,267,534	△ 789,426
SPI 200. SFE. DEC15	AUD	買	2	21,059,304	△ 307,035
TAIWAN INDEX MSCI. SGX. OCT15	USD	売	1	3,618,752	△ 7,201
TOPIX. OSE. DEC15	JPY	買	1	14,115,000	△ 216,000
合 計			—	—	△3,422,005
総 合 計			—	—	△4,193,208

*本表は「SMBC Nikko Bank (Luxemburg) S.A」から提供を受けた情報をもとに作成しております。

2. クレディ・スイスG T A Aファンドが投資対象とするアバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの状況

◎最近1年間の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率
	米ドル	%
2015年2月末	1,136.41103	—
3月末	1,136.58070	0.0
4月末	1,136.75512	0.0
5月末	1,136.90652	0.0
6月末	1,137.06494	0.1
7月末	1,137.24739	0.1
8月末	1,137.40782	0.1
9月末	1,137.59520	0.1
10月末	1,137.79298	0.1
11月末	1,138.01192	0.1
12月末	1,138.31419	0.2
2016年1月末	1,138.66387	0.2
(現在日)		
2016年2月22日	1,138.98304	0.2

(注1) 基準価額は1口当たり、騰落率は2015年2月末比。

(注2) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

1) アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの損益の状況

クレディ・スイスG T A Aファンドは、アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの投資証券に投資していますが、以下の内容は、アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの全てのクラスの投資証券の内容を合算しています。

(1) 前期末（2015年3月31日）純資産額	1,525,757千米ドル
(2) 損益計算書（2015年4月1日から2015年9月30日まで）	（単位：千米ドル）
収益	
受取利息	2,163
収益合計	2,163
費用	
委託者報酬	674
管理報酬	168
保管費用	42
監査報酬等	196
その他費用	303
費用合計	1,383
投資純利益	780
運用による純資産増減額	780
(3) 元本増減額	
追加・解約による純資産増減額	217,725
(4) 2015年9月30日現在 純資産額	1,744,262

2) <組入資産の明細>

(2015年9月30日現在)

銘 柄 名	償還日/満期日	額 面 金 額	評 価 額
<Bonds>			千米ドル
Australia & New Zealand Banking Group	06/10/2015	500,000	500
Bank Nederlandse Gemeenten (EMTN)	08/02/2016	15,071,000	15,086
Bank Nederlandse Gemeenten	18/07/2016	3,560,000	3,565
Bank Nederlandse Gemeenten	18/07/2016	2,784,000	2,788
Bank of Nova Scotia	15/03/2016	3,560,000	3,565
Bank of Nova Scotia	15/07/2016	3,041,000	3,050
Bank Of Tokyo Mitsubishi	26/02/2016	4,150,000	4,152
BMW Finance (EMTN)	27/05/2016	10,000,000	10,007
BNP Paribas (MTN)	23/02/2016	1,437,000	1,453
BP Capital Markets	01/10/2015	8,114,000	8,114
BP Capital Markets	06/11/2015	700,000	700
Caisse des Depots et Consignations (EMTN)	16/12/2015	10,000,000	10,004
Caisse des Depots et Consignations (EMTN)	12/09/2016	15,600,000	15,596
Canadian Imperial Bank of Commerce	18/07/2016	7,700,000	7,723
Caterpillar Financial Services (MTN)	26/02/2016	1,500,000	1,501
Danske Bank	14/04/2016	15,000,000	15,245
Erste Abwicklungsanstalt (EMTN)	29/01/2016	17,600,000	17,616
Erste Abwicklungsanstalt (EMTN)	11/02/2016	1,400,000	1,401
Erste Abwicklungsanstalt (EMTN)	07/06/2016	8,600,000	8,610
GE Capital Corporation	11/12/2015	680,000	681
GE Capital Corporation (MTN)	08/01/2016	771,000	771
International Business Machines	05/02/2016	1,500,000	1,500
Korea Development Bank	22/01/2016	1,340,000	1,341
Merck & Co	18/05/2016	294,000	294
Nordea Bank	13/05/2016	14,394,000	14,410
Nordea Bank	13/05/2016	4,490,000	4,500
Paccar Financial Europe (MTN)	08/02/2016	1,800,000	1,801
Rabobank Nederland	18/03/2016	5,780,000	5,792
Rabobank Nederland	23/10/2015	2,400,000	2,400
Royal Bank of Canada (GMTN)	16/12/2015	200,000	200
Societe Generale	15/01/2016	4,800,000	4,838
Svenska Handelsbanken	21/03/2016	18,500,000	18,531
Svenska Handelsbanken	12/07/2016	5,000,000	5,090
Total Capital Canada	15/01/2016	3,730,000	3,734
Total Capital International	25/01/2016	5,875,000	5,880
Toyota Motor Credit (MTN)	29/10/2015	5,000,000	5,000
Toyota Motor Credit (MTN)	07/01/2016	1,780,000	1,781

銘 柄 名	償還日／満期日	額 面 金 額	評 価 額
			千米ドル
Toyota Motor Credit (MTN)	15/04/2016	3,060,000	3,060
Westpac Banking (GMTN)	12/01/2016	2,000,000	2,002
合 計			214,282
<Money Market Instruments>			千米ドル
Allianz	13/10/2015	20,000,000	19,999
Allianz	26/10/2015	20,000,000	19,997
Allianz	23/11/2015	14,000,000	13,995
Allianz	25/11/2015	16,000,000	15,993
AMP BANK	26/10/2015	25,000,000	24,995
Bank Of Montreal	28/10/2015	20,000,000	19,996
Bank Of Tokyo Mitsubishi	09/10/2015	9,500,000	9,499
Bank Of Tokyo Mitsubishi	28/10/2015	20,000,000	19,996
Bank Of Tokyo Mitsubishi	04/12/2015	10,000,000	9,994
Banque & Caisse d'Epargne de l'Etat	12/11/2015	25,000,000	24,992
Banque Federative du Credit Mutuel	23/11/2015	40,000,000	39,979
Banque Federative du Credit Mutuel	01/12/2015	21,000,000	20,988
BMW Finance	16/11/2015	16,000,000	15,994
BPCE	06/10/2015	24,100,000	24,100
CARGILL	13/10/2015	25,000,000	24,999
DBS Bank	09/10/2015	25,000,000	24,999
DBS Bank	09/10/2015	500,000	500
DekaBank Deutsche Girozentrale	01/12/2015	15,000,000	14,992
DZ bank	13/10/2015	25,000,000	24,998
DZ bank	19/10/2015	15,000,000	14,998
DZ bank	10/11/2015	20,000,000	19,991
DZ bank	17/05/2016	15,000,000	14,943
Erste Abwicklungsanstalt	30/10/2015	15,000,000	14,997
HSBC France	10/12/2015	20,000,000	19,985
ING Bank	25/01/2016	20,000,000	19,971
Kiwibank	02/10/2015	11,000,000	11,000
Kiwibank	15/12/2015	11,000,000	10,993
Landesbank Hessen Gz Frankfurt	20/10/2015	25,000,000	24,994
Landesbank Hessen Gz London	05/10/2015	8,000,000	8,000
Mitsubishi UFJ Trust & Banking	05/10/2015	5,000,000	5,000
Mitsubishi UFJ Trust & Banking	27/11/2015	25,000,000	24,987
Mizuho Bank	07/10/2015	14,500,000	14,499
Mizuho Bank	10/11/2015	20,000,000	19,993
Mizuho Corporate Bank	08/10/2015	20,000,000	19,999
Nestle Finance International	20/01/2016	25,000,000	24,974

銘 柄 名	償還日／満期日	額 面 金 額	評 価 額
			千米ドル
Nordea Bank	16/12/2015	25,000,000	24,985
Oversea Chinese Banking	18/11/2015	25,000,000	24,991
Pohjola Bank	15/10/2015	5,500,000	5,499
Pohjola Bank	19/10/2015	21,500,000	21,496
Pohjola Bank	27/10/2015	12,000,000	11,997
Pohjola Bank	10/11/2015	5,000,000	4,998
Pohjola Bank	30/11/2015	11,000,000	10,993
Pohjola Bank	30/11/2015	10,000,000	9,995
Pohjola Bank	21/12/2015	6,000,000	5,995
Prudential	04/12/2015	20,000,000	19,989
SNCF Reseau	16/10/2015	8,000,000	7,999
Sumitomo Mitsui Banking	10/11/2015	15,000,000	14,994
Sumitomo Mitsui Banking	12/11/2015	25,000,000	24,991
Sumitomo Mitsui Banking	30/11/2015	40,000,000	39,978
Suncorp-Metway	14/10/2015	25,000,000	24,996
Suncorp-Metway	14/01/2016	15,000,000	14,980
Suncorp-Metway	19/01/2016	23,629,000	23,597
The Norinchukin Bank	14/10/2015	20,000,000	19,998
Toyota Motor Finance	11/12/2015	20,000,000	19,987
Unilever	06/11/2015	25,000,000	24,992
Wells Fargo Bank	12/11/2015	7,000,000	7,000
Wells Fargo Bank	30/11/2015	41,000,000	41,000
Zurich Finance	05/10/2015	28,500,000	28,499
Zurich Finance	07/10/2015	20,000,000	19,999
Zurich Finance	09/10/2015	20,000,000	19,999
Zurich Finance	13/10/2015	10,000,000	9,999
合 計			1,124,275
総 合 計			1,338,557

<為替予約取引>

種 類	(2015年9月30日現在)		
	購 入 額	売 却 額	評 価 損 益
為替予約取引	米ドル	円	千米ドル
	—	—	—
小 計	—	—	—
総 合 計	—	—	—

<その他資産・負債>

(2015年9月30日現在)

種 類	金 額
	千米ドル
Cash at bank	285,890
Interest receivable	677
Receivable on reverse repurchase agreements	167,105
Other assets	165
Liabilities	△ 48,132
(Payable for investments purchased)	(△ 47,378)
(Taxes and expenses payable)	(△ 696)
(Other liabilities)	(△ 58)
合 計	405,705
総 合 計	千米ドル 1,744,262

*本表は、「アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ」から提供を受けた情報をもとに作成しております。